

## むすびにかえて

文化庁では、地域が自らの文化財を再認識し、行政だけでなく地域社会のあらゆる主体が参加して地域の文化財の保護活動を行い、それを通じて地域文化の継承、地域コミュニティの活性化、地域アイデンティティの確立に資することを目標に、各自治体が「歴史文化基本構想」を策定することを提唱しています。福岡市は、市内の文化財の詳細な把握と福岡市の歴史文化の特徴を踏まえた歴史文化基本構想として、ここに「福岡市の文化財の保存活用に関する基本方針」をとりまとめました。

歴史文化基本構想とは、「地域に存在する文化財を、指定・未指定にかかわらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境まで含めて総合的に保存・活用するための構想」です。わたしたちは、その保存・活用の前提として、多くの文化財が示している福岡市の歴史と現状を、「海を通じた交流を軸にアジアの交流拠点都市として発展を遂げた2000年を超える歴史文化の重層性」と特徴付けました。また、地域の多様な文化財を総合的にとらえ、周辺環境と一体として保存・活用するために、「始まる」、「賑わう」、「繋がる」、「護る」、「支え合う」という5つの視点による歴史の新たなとらえ直しを提示しました。

福岡市は、弓なりの日本列島の西、ユーラシア大陸と朝鮮半島に近接し、おだやかな内海を抱く博多湾に面する平野に広がります。この地に住む人は、約2000年前、稲作を基盤とした都市を成立させて以来、世界と日本列島の情勢の変化に応じ、都市の機能を絶えず更新し、「上書き」し続けてきました。長い歴史を持ちつつも、時代ごとに先進的な都市空間が出現しつづけた福岡市では、過去の営みの所産と痕跡が、現在の賑やかな市街地や地域コミュニティのなかに、ばらばらのパズルのピースのように散らばり、あるいは、時の重みの下に埋没しています。

ばらばらのパズルのピースを掘り出し、集積し、一つの「像」として組み上げ、歴史を編む—その作業を行うために、福岡市が専門の部署として教育委員会に文化課（現在の文化財活用部）を設けたのが、1969年4月のことです。ここから半世紀、本方針の2章に述べたように、福岡市は体制を拡充させながら、常に文化財の価値を市民と共有することをめざし、歴史と文化に関する情報と知財を蓄積してきました。この基本方針では、その蓄積のうえにたち、文化財と地域の環境や歴史のかかわりについて、市域を15のエリアに区画し、エリアごとに示すことで、多くの市民にとって実感しやすいものとなりました。

今日、文化財とされるものの多くは、本来の役割を終えたあと、あるいはそれに加えて、新たな価値を見出されたり、付与されたりしたものです。文化財の保存活用の根本にあるのは、この「価値を見出す」というはたらきです。これは少数の専門家だけが担うものではありません。世界遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」にも、歴史や文化財の専門家や行政が着目する前から、市民がその文化遺産としての価値を予見し、その保存をねばりづよく訴え続けたものが含まれています。

この基本方針で提示した歴史の語りは、市民の感覚に秘められた予見性への期待と信頼にもとづくものです。この基本方針をきっかけに、多くの市民が身の回りにある様々な事象に文化財としての価値を見出し、専門家や行政とともに、あるいはそれに先がけて、文化財やそれにまつわる記憶・記録を次世代に継承する行動に参画してくれることを望んで止みません。

福岡市歴史文化基本構想検討委員会委員長 有馬 学

## 用語解説

頁	用語	解説
4	有形文化財	建造物、工芸品、彫刻、書跡、典籍、古文書、考古資料、歴史資料などの有形の文化的所産で、我が国にとって歴史上、芸術上、学術上価値の高いものの総称。
4	無形文化財	演劇、音楽、工芸技術、その他の無形の文化的所産で我が国にとって歴史上または芸術上価値の高いものの総称。人間の「わざ」そのものであり、具体的にはわざを体得した個人または個人の集団によって体現される。
4	民俗文化財	衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋、その他の物件など人々が日常生活の中で生み出し、継承してきた有形・無形の伝承で人々の生活の推移を示すものの総称。
4	記念物	史跡（貝塚、古墳、都城跡、城跡旧宅等の遺跡で我が国にとって歴史上または学術上価値の高いもの）、名勝（庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳等の名勝地で我が国にとって芸術上または鑑賞上価値の高いもの）、天然記念物（動物、植物及び地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いもの）の総称。
4	文化的景観	地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの。
4	伝統的建造物群保存地区	周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値が高いもの（伝統的建造物群）、およびこれと一体をなしてその価値を形成している環境を保存するため、市町村が地域地区として都市計画もしくは条例で定めた地区。
4	指定等文化財	国が文化財保護法に基づき重要なものを国宝、重要文化財、史跡、名勝、天然記念物等として指定、選定、登録し、現状変更などについて一定の制限を課した文化財。制限の一方、保存修理や防災施設の設置、史跡等の公有化等に対する補助や、文化財の公開施設の整備に対する補助など、文化財の保存・活用のための措置を講じている。また、国が指定、選定、登録したもの以外で、都道府県や市町村が重要なものは、文化財保護条例に基づき指定、登録して、文化財の保存・活用を図っている。
22	転入超過	人口動態において、ある特定の期間における、転入数が転出数を上回っている状態。
28	クリエイティブ関連産業	建築、コンピュータソフト・サービス、映像・音楽・広告、デザイン業などからなる産業群。

頁	用語	解説
28	グローバル創業・雇用創出特区	日本の経済活性化のために、地域限定で規制や制度を改革し、その効果を検証するために指定される国家戦略特区のひとつとして、福岡市では創業の支援と雇用の創出に取り組んでいる。
28	開業率	ある特定の期間における、既に存在していた事業所（または企業）に対する新規に開設された事業所（または企業）数の割合。
29	クルーズ客船	宿泊施設・様々なエンターテインメントを備えた、洋上ライフを楽しむための旅客船。
29	MICE (マイス)	多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。企業などの会議（Meeting）、企業などが行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行：企業などが社員に報奨として与える旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会などが行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字をとったもの。
31	NPO法人	政府・自治体や企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで、医療・福祉、環境、国際協力・交流など社会的な交易活動を行う民間非営利組織・団体。法人格を持たない団体、ボランティア団体を含む。
31	アーティスト・イン・レジデンス	芸術制作を行うアーティストを一定期間招聘し、その土地に滞在しながら作品制作やリサーチ活動を行わせる事業。
31	コンテンツ	インターネットやテレビなど様々なメディアを通じて提供される情報や知識の内容。
40	スタートアップ	新しい行動や事業を起こすこと。
69	モノ消費、コト消費	消費者がお金を使う際に、商品の所有に価値を見出す消費傾向を「モノ消費」、体験やサービスに価値を見出す消費傾向を「コト消費」という。
71	アクティブエイジング	Active Aging（活動的な高齢化）。高齢者が健康の維持、家族や地域社会の営みへの参加、安心できる社会づくりのための様々な機会を最大限に高めるプロセス。
77	ブランディング	ブランドに対する共感などを通じて、ブランドの認知を広め、価値を高めていくための組織的かつ長期的な取組。
77	シティプロモーション	自治体の魅力を多くの人に認知させるために、自治体が行う営業活動のこと。

## 用語解説

頁	用語	解説
90	A R	Augmented Reality (拡張現実)。現実の風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示する技術。
90	V R	Virtual Reality (仮想現実)。コンピュータで作成した映像や音響技術などを利用して、実在しない仮想的な環境を作り出す技術。
90	3D プリンター	三次元のデジタルデータをもとに、立体物を成形する装置。
91	ユニバーサルデザイン	年齢、性別や国籍、障がいの有無等を問わず、すべての人が自由に快適に利用でき、行動できるような思いやりのある配慮を、まちづくりやものづくりなどのあらゆる場面で、ハード・ソフトの両面から行っていこうとする考え方。
92	フィルムコミッション	映画やテレビドラマ、コマーシャルなどの撮影の場所の誘致や、撮影支援を行う機関。
93	「やさしい日本語」	普通の日本語よりも簡単で、外国人にも分かりやすい日本語のこと。
93	バリアフリー	高齢者や障がいのある人などが社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）すること。
93	ハンズオン展示	実習、実験、体感など、体を使う（Hands-on「手を置く、手を触れる」）ことによる展示手法。展示物に実際に触れることで、探究心を刺激し、理解力を深め、楽しむことで、学習内容の定着度を上げる効果が期待される。
93	インクルーシブデザイン	多様なニーズに応えたデザインを実現するため、外国人や障がいのある人などを開発段階から巻き込んで、一緒に構想するデザイン手法。
94	ユニークベニュー	歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のこと。
97	マッチング	種類の異なるものを組み合わせること。
99	インバウンド	外国人が日本に訪問する旅行（訪日外国人旅行）。
99	コンベンション施設	見本市（展示会）や会議を行うことを主要な事業とする複合施設。
99	アクティビティ	リゾート地などでの様々な遊び。
100	サイクルツーリズム	自転車を活用した観光振興。
100	グリーンツーリズム	農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

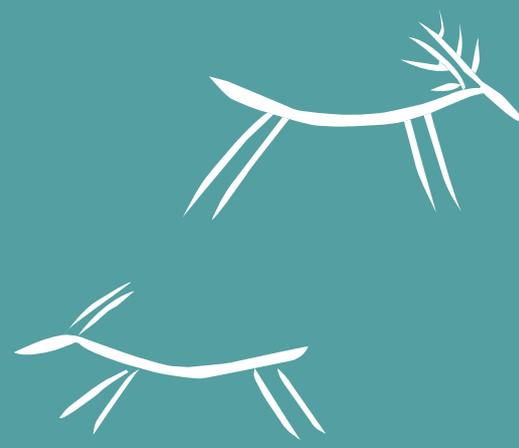
頁	用語	解説
101	デスティネーション	旅行目的地、旅行先。
102	インスタレーション	現代美術における表現手法・ジャンルの一つ。ある特定の室内や屋外などにオブジェや装置を置いて、作家の意向に沿って空間を構成し変化・異化させ、場所や空間全体を作品として体験させる芸術。
106	S N S	Social Network Service（ソーシャルネットワークサービス）の略。人と人との現実の関係をインターネットを使って補助するコミュニケーション・サービス。



**福岡市の文化財の保存活用に関する基本方針**  
**～福岡市歴史文化基本構想～**

編集・発行 福岡市  
福岡市中央区天神一丁目8番1号

平成31年3月



福岡市

